

令和6年度補助金調書

No. 15-1

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117200
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	環境市民活動支援事業補助金					分類	<input type="radio"/> (1)一般補助金(団体等への補助金など)
							<input type="radio"/> (2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
							<input type="radio"/> (3)個人に対する補助金
							<input type="radio"/> (4)その他
②支出の根拠	決裁						
③支出先	環境ネットせき						
④国・県の負担	<input type="radio"/> なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		<input type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対 象	環境ネットせき				に対して	
	手 段	活動資金の補助				を行うことで	
	受益者	環境に対する市民レベルの活動展開が活性化し				が(を)	
	意 図	環境基本計画に定める関市が目指す将来像に近づく				という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 16 年度			
⑦事務局体制	<input type="radio"/> 主に市の担当課	<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	<input type="checkbox"/> その他 ()				
⑧構成員の負担	<input type="checkbox"/> 負担なし	<input type="radio"/> 負担あり	負担額	1人	あたり	1,000 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	250	250	250	250	単価を定めている→算式		
					<input type="radio"/> 定額補助	<input type="checkbox"/> その他 ()	
					<input type="checkbox"/> 概算払	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 前金払
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	365 千円	R6歳出	335 千円	翌年度繰越額	30 千円
	決算額(事業)	R6歳入	365 千円	R6歳出	335 千円	翌年度繰越額	30 千円
	R6歳入に占める補助金の割合		68.5 %	全体の決算額を把握していない		<input type="checkbox"/> 非該当	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	地道な活動の一過程として推進されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	環境配慮の民間先導役の活動停滞	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	<input type="radio"/> 1 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 2 補助内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)			

令和6年度補助金調書

No. 15-2

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117200
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	環境フェア		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)個人に対する補助金		
				(4)その他		
②支出の根拠	環境フェアせき事業補助金交付要綱					
③支出先	環境フェアせき実行委員会					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対 象	環境フェアせき実行委員会			に対して	
	手 段	イベント開催に係る事業経費の補助			を行うことで	
	受益者	来場者			が(を)	
	意 図	環境保全意識の高揚と環境関連情報の効果的な発信を行う			という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成	16 年度	
⑦事務局体制	○主に市の担当課		主に支出先団体		その他 ()	
⑧構成員の負担	○負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	500	500	700	600	単価を定めている→算式		
	○定額補助				○その他 ()		
	有 概算払				前金払		
②過去における見直し状況	チラシデザイン料や駐車場警備費用などにより必要経費が増えたためR6より増額						
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	871 千円	R6歳出	866 千円	翌年度繰越額	5 千円
	決算額(事業)	R6歳入	871 千円	R6歳出	866 千円	翌年度繰越額	5 千円
	R6歳入に占める補助金の割合		80.4 %		全体の決算額を把握していない		非該当

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	ほぼ達成している	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	環境取組をすすめる団体の発表の場として必要	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続		2 補助内容を見直す		3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討		5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)					

令和6年度補助金調書

No. 15-3

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117550
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	資源ごみ集団回収事業奨励金				分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)	
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)	
	②支出の根拠					関市資源ごみ集団回収事業奨励金交付要綱	
						(3)個人に対する補助金	
③支出先				PTA、子ども会、自治会等			
④国・県の負担		○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
			県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	PTA、子ども会、自治会等営利を目的としない市民で構成する団体				に対して	
	手段	新聞紙等の交付対象となる資源ごみを資源回収業者に引き渡した重量に応じて奨励金の支払い				を行うことで	
	受益者	市民				が(を)	
	意図	リサイクル意識の高揚を図る				という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 13 年度			
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ()			
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	3,020	2,461	2,073	3,300	○単価を定めている→算式	1kgあたり3円	
					定額補助	その他 ()	
					概算払	前金払	
②過去における見直し状況	市の古紙回収事業終了にともない、代替事業となった集団資源回収をさらに推奨するため、令和3年より補助単価を1kgあたり「1.5円」から「3.0円」に増額した。						
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	決算額(事業)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		%		全体の決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成	
	交付先の事業成果は向上しているか	把握していない	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	集団資源回収事業の停滞	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1現状のまま継続	2補助内容を見直す	3縮小・減額を検討
	4統合を検討	5終期を設定	6休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和6年度補助金調書

No. 15-4

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117550
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	生ごみ発酵促進剤購入		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				○(3)個人に対する補助金		
				(4)その他		
②支出の根拠	決裁					
③支出先	生ごみ発酵促進剤等販売者					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	生ごみ発酵促進剤購入者			に対して	
	手段	生ごみ発酵促進剤に係る費用の2分の1以内の補助			を行うことで	
	受益者	市民			が(を)	
	意図	一般家庭から排出される生ごみの減量化と資源の再利用の意識の高揚を図る			という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成	5 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	○ 補助率を定めている→補助率	2分の1以内
	380	350	312	503	単価を定めている→算式	
	定額補助		その他 ()		概算払	
	前金払					
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額 0千円
	決算額(事業)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額 0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		%	全体の決算額を把握していない ○ 非該当		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成には至っていないが促進されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	生ごみの排出量が増加する	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)			

令和6年度補助金調書

No. 15-5

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117550
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	生ごみたい肥化装置等購入		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市生ごみたい肥化装置等購入補助金交付要綱		○	(3)個人に対する補助金		
				(4)その他		
③支出先	生ごみたい肥化装置等購入者					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	生ごみたい肥化装置等購入者				に対して
	手段	装置等購入に要する経費の2分の1以内(限度額有)の補助				を行うことで
	受益者	市民				が(を)
	意図	生ごみのたい肥化及び庭木の小枝、落葉等の家庭内での有効利用を促進し廃棄物の減量化に寄与する				という状態にする
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成	4	年度
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○	その他 (非該当)	
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり	円

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	○ 補助率を定めている→補助率	2分の1以内
	2,263	1,750	1,716	2,400	単価を定めている→算式	
					定額補助	その他 ()
					概算払	前金払
②過去における見直し状況						
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額 0千円
	決算額(事業)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額 0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		%	全体の決算額を把握していない ○ 非該当		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成には至っていないが促進されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	家庭ごみの排出量が増加する	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○	1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
		4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)				

令和6年度補助金調書

No. 15-6

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	117700
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	飼い主不明猫避妊手術費用助成		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市飼い主不明猫避妊手術事業補助金交付要綱			○(3)個人に対する補助金		
				(4)その他		
③支出先	飼い主不明猫避妊手術を行った者					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合	負担額	393千円	
		県の負担あり	負担割合	負担額	392千円	
⑤支出の目的	対象	飼い主不明猫の避妊手術等を受けさせる市民			に対して	
	手段	避妊手術に要する経費の2分の1以内(限度額有)の補助			を行うことで	
	受益者	市民			が(を)	
	意図	飼い主不明猫の増加の抑制を通じた快適な生活環境が保持された			という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	令和 4 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	○ 補助率を定めている→補助率	2分の1以内	
	64	134	131	200	単価を定めている→算式		
					定額補助	その他 ()	
					概算払	前金払	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	決算額(事業)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		%		全体の決算額を把握していない		○ 非該当

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成している	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	飼い主不明猫の増加による生活環境の悪化	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)			

令和6年度補助金調書

No. 15-7

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	118020
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	合併処理浄化槽設置事業補助金		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
②支出の根拠	関市浄化槽設置補助金交付要綱			○(3)個人に対する補助金		
				(4)その他		
③支出先	下水道未整備地区で新たに合併浄化槽を設置する者					
④国・県の負担	なし	○国の負担あり	負担割合	1/3	負担額	393千円
		○県の負担あり	負担割合	1/3	負担額	392千円
⑤支出の目的	対象	市民			に対して	
	手段	合併処理浄化槽を設置する費用の一部補助			を行うことで	
	受益者	下水道未整備地区で新たに合併浄化槽を設置する者			が(を)	
	意図	し尿及び生活雑排水による生活環境の悪化ならびに公共用水域の水質汚濁の防止を図る			という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 16 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		主に支出先団体	○ その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	585	360	1,176	4,410	単価を定めている→算式		
					○ 定額補助	その他 ()	
					概算払	前金払	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	決算額(事業)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		%		全体の決算額を把握していない		非該当

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成されている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	大きい	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和6年度補助金調書

No. 15-8

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	118060
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	太陽光発電設備等設置補助金				分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
						(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
②支出の根拠	関市太陽光発電設備等設置費補助金交付要綱				○	(3)個人に対する補助金
						(4)その他
③支出先	太陽光発電設備等設置者					
④国・県の負担	なし	<input type="checkbox"/> 国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		<input checked="" type="checkbox"/> 県の負担あり	負担割合	100%	負担額	14,607千円
⑤支出の目的	対 象	市民				に対して
	手 段	太陽光発電設備及び蓄電池の設置に対する補助				を行うことで
	受益者	市				が(を)
	意 図	再生可能エネルギーの利用促進及び温室効果ガスの排出削減を図り、脱炭素社会の実現				という状態にする
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	令和 4 年度		
⑦事務局体制	<input checked="" type="checkbox"/> 主に市の担当課		<input type="checkbox"/> 主に支出先団体	○ その他 (非該当)		
⑧構成員の負担	負担なし		負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	<input checked="" type="checkbox"/> 補助率を定めている→補助率	7万円/1Kw	
	3,849	19,646	14,607	19,644	<input type="checkbox"/> 単価を定めている→算式		
					<input type="checkbox"/> 定額補助	<input type="checkbox"/> その他 ()	
					<input type="checkbox"/> 概算払	<input type="checkbox"/> 前金払	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	決算額(事業)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		%		全体の決算額を把握していない		

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	再生可能エネルギーの普及の遅延	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方 向 性 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> 1 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/> 2 補助内容を見直す	<input type="checkbox"/> 3 縮小・減額を検討
	<input type="checkbox"/> 4 統合を検討	<input type="checkbox"/> 5 終期を設定	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
②課 題 (改善状況等)	県補助がR7年度に終了するため、補助内容を見直し、市単での継続について検討する。		

令和6年度補助金調書

No. 15-9

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	118000
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	地域墓地整備補助金		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				○(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)個人に対する補助金		
				(4)その他		
②支出の根拠	関市墓地整備事業補助金交付要綱					
③支出先	地域墓地を整備する市内の地区、自治会等					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	地域墓地を整備する市内の地区、自治会等			に対して	
	手段	対象となる整備にかかる経費の2分の1に相当する額の補助(上限1,000千円)			を行うことで	
	受益者	地域墓地を整備する市内の地区、自治会等			が(を)	
	意図	地域墓地の環境の維持及び向上を図ることを目的とする			という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成	6 年度	
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額(千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	○補助率を定めている→補助率	2分の1	
	0	1,913	1,524	0	単価を定めている→算式		
					定額補助	その他 ()	
					概算払	前金払	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	決算額(事業)	R6歳入	4,240千円	R6歳出	4,240千円	翌年度繰越額	0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		35.9 %		○全体の決算額を把握していない	非該当	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適当	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	地域墓地整備の停滞	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性(複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題(改善状況等)			

令和6年度補助金調書

No. 15-10

担当課	環境課	室・部・局	市民環境部	予算事業コード	119300
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	ごみ集積場設備事業補助金		分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)		
				(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)		
				(3)個人に対する補助金		
				(4)その他		
②支出の根拠	関市ごみ集積場整備事業補助金交付要綱					
③支出先	ごみ集積場を整備する市内の自治会又は市民による住民自治組織					
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円
⑤支出の目的	対象	ごみ集積場を整備する市内の自治会、市民による住民自治組織			に対して	
	手段	対象となる整備にかかる経費の2分の1に相当する額の補助(補助金については上限等の制約あり)			を行うことで	
	受益者	ごみ集積場を整備する市内の自治会、市民による住民自治組織			が(を)	
	意図	ごみ集積場の維持及び向上を図ることを目的とする			という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	平成 27 年度		
⑦事務局体制	主に市の担当課		○主に支出先団体	その他 ()		
⑧構成員の負担	負担なし		○負担あり	負担額	あたり 円	

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	○補助率を定めている→補助率	2分の1以内	
	1,431	1,977	2,192	2,000	単価を定めている→算式		
					定額補助	その他 ()	
					概算払	前金払	
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	千円	R6歳出	千円	翌年度繰越額	0千円
	決算額(事業)	R6歳入	5,505千円	R6歳出	5,505千円	翌年度繰越額	0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		39.8 %		○全体の決算額を把握していない	非該当	

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	適切	
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握していない	
	支出額・補助率は適正か	適正	
③有効性	補助の目的は達成できているか	達成できている	
	交付先の事業成果は向上しているか	向上している	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	ごみ集積場整備の停滞	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)			

担当課	環境課	室・部・局	市民環境課	予算事業コード	119500
-----	-----	-------	-------	---------	--------

1 補助金の内容 【PLAN】

①補助金の名称	リサイクル推進協議会補助金					分類	(1)一般補助金(団体等への補助金など)
							(2)事業補助金(団体等事業に対する補助金など)
							(3)個人に対する補助金
							(4)その他
②支出の根拠	関市民リサイクル推進協議会会則						
③支出先	関市民リサイクル推進協議会						
④国・県の負担	○なし	国の負担あり	負担割合		負担額	千円	
		県の負担あり	負担割合		負担額	千円	
⑤支出の目的	対象	市民				に対して	
	手段	本協議会がリサイクル運動の推進や資源愛護思想の普及を図り、リサイクル事業の推進啓発や分配金の適正化				を行うことで	
	受益者	市民				が(を)	
	意図	資源愛護思想を養い、リサイクルが意識定着した				という状態にする	
⑥期間	R 6 年 4 月 1 日 ~ R 7 年 3 月 31 日		補助開始年度	昭和 61 年度			
⑦事務局体制	○主に市の担当課	主に支出先団体		その他 ()			
⑧構成員の負担	○負担なし	負担あり		負担額	あたり 円		

2 実績(見込み) 【DO】

①補助金の額 (千円)	R4決算	R5決算	R6決算	R7予算	補助率を定めている→補助率		
	900	900	900	900	単価を定めている→算式		
					○定額補助	その他 ()	
					概算払	有	前金払
②過去における見直し状況							
③支出先の決算の状況	決算額(全体)	R6歳入	900千円	R6歳出	900千円	翌年度繰越額	0千円
	決算額(事業)	R6歳入	900千円	R6歳出	900千円	翌年度繰越額	0千円
	R6歳入に占める補助金の割合		100.0 %		全体の決算額を把握していない		非該当

3 事後評価 【CHECK】

評価項目		担当課による評価	担当課の課題
①妥当性	補助することが適当か	段階的に減額・廃止	補助金の減額や廃止は、会長や役員からの大きな反発を招きかねない。丁寧な説明が必要となる。
	類似の補助金はあるか(あれば名称)	なし	
②効率性	交付先の事業実績を把握しているか	把握している	委員からの報告を随時受けている。
	支出額・補助率は適正か	要検討	
③有効性	補助の目的は達成できているか	ほぼ達成	本協議会の目的は、達成されたと言えるが、①妥当性でも述べたとおり、会長等の同意なく、補助金の減額や廃止を進めれば大きな反発が懸念される。
	交付先の事業成果は向上しているか	現状維持	
	補助を休止・廃止した場合の影響は	リサイクル事業推進啓発停滞	

4 今後の方向性・課題 【ACTION】

①方向性 (複数選択可)	○ 1 現状のまま継続	2 補助内容を見直す	3 縮小・減額を検討
	4 統合を検討	5 終期を設定	6 休止・廃止を検討
②課題 (改善状況等)	本協議会の目的とも言える市民のリサイクル意識定着は、既に達成したと言えるため、今後も本協議会が継続する場合は、活動目的を「ごみの減量化」にシフトする必要がある。また、本協議会の補助金減額や廃止は、本協議会の解散にも繋がり、大きな反発が懸念されるため、意思決定する会長等の同意や解散に向けた手続きが必要となる。		